

GGGI 116位と低迷…

～遅れを取り戻せない理由に挑戦!～

日時：2022年12月3日(土) 13:30～16:30

ハイブリッド開催(会場・オンライン同時)

会場：ホテルニュー長崎(長崎市大黒町14-5 TEL095-826-8000)及びオンライン/Zoom

GGGI(グローバル ジェンダー ギャップ指数)とは、世界経済フォーラムが毎年算出する男女の平等度を示す指数です。2022年も、日本は総合指数0.656(指数が1に近いほど平等度が高い)で、146か国中116位で、先進国の中でも男女の平等度は極めて低いままです。コロナ禍では、平時のアンバランスが弱者へ大きな影響を与えました。真のジェンダー平等フィフティ・フィフティをめざして、議論から行動へつなげることが求められます。

プログラム

13:30 開会挨拶

13:35 ヤング・スピーチコンテスト

14:00 日本BPW連合会活動報告

14:15 《2022GGGI 116位の背景》

4分野について報告

【政治】 山崎摩耶さん：前衆議院議員

【経済】 名取はにわさん：日本BPW連合会理事長

【教育】 中野洋恵さん：日本BPW連合会企画委員長

【健康】 黒崎伸子さん：BPW長崎クラブ会長

15:20 パネルディスカッション “GGGI順位から考える日本のジェンダー平等”
上記スピーカー4名および参加者(会場・オンライン)との意見交換

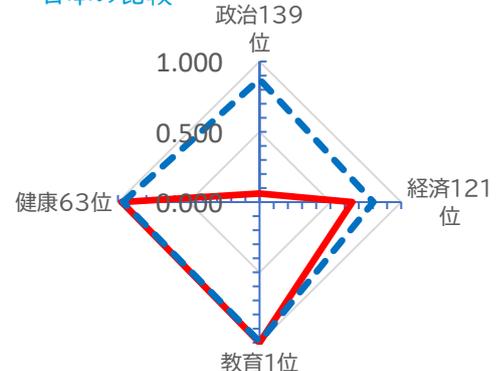
16:20 スピーチコンテスト結果発表・講評

16:30 閉会

GGGI 2022

1位アイスランドと

日本の比較



参加費無料

参加申込方法：右の申込サイトよりお願いします。 <http://urx.red/Q9vt>

QRコード➔



定員 80名 (会場 30名 Zoom 50名)

申込み〆切：2022年11月28日(月) 但し定員になり次第〆切

※ 会場参加の方は、下記メールアドレスまたはFAXでもお申し込みいただけます。

お問合せ先：メール bpw2020.nagasaki@gmail.com FAX 095-882-7288

What's BPW

：Business and Professional Women の略で、働く女性の権利を護り、男女格差を解消し、女性が働き続けるための環境の改善、技術・知識の向上を目指して活動を続けています。1958年に日本有職婦人クラブ全国連合会として創立、その後、日本BPW連合会と改称。2009年に法人化、2017年に認定NPO法人の資格を取得しました。会員は、職種、地位などにとらわれず、全国各地の単位クラブ・アソシエーツを中心に活発な活動を展開しています。また、日本BPW連合会は、創立以来、国連・経済社会理事会の総合協議資格をもつBPW Internationalの一員として、国際交流や国連の様々な活動にも積極的に参加しています。



主催：認定NPO法人 日本BPW連合会

担当：BPW長崎クラブ

後援：長崎県、長崎市、クォータ制を推進する会/Qの会

<https://www.bpw-japan.jp/>

★日本 BPW 連合会 ヤングスピーチコンテストとは

2002年 BPWI メルボルンコンgresで目にした BPW オーストラリア・ヤング委員会企画のスピーチコンテストに心が動いた。幼いころから人前でスピーチする機会の多い諸外国の人が、自分の意見や考えを気軽に堂々と発表しているのに比べ、日本人は人前で話すことを意識し過ぎて、つい発言を抑制しがちである。どんな場面でも、自分の意見をわかりやすくスピーチできるスキルのある女性を育てることは、BPW の使命のひとつと考え、このコンテストが実現した。今年で 20 回目となる。「女性が社会的地位を獲得していくには、いかに自分の考えをアピールできるかが鍵！」がコンセプトである。2022 年度のスピーチのテーマ「私と仕事・職業」

★★GGGI 報告者・パネリスト 紹介

<p>山崎摩耶さん</p>  <p>前衆議院議員、 「クオータ制を 推進する会/Q の会」役員、 BPW 東京クラブ “GGGI 政治分野はワースト8! 候補者男女均等法から4年、統一地方選挙を前に障壁にチャレンジしよう!”</p>	<p>名取はにわさん</p>  <p>日本 BPW 連合会理事長、学校法人日本社会事業大学理事長、元内閣府男女共同参画局長 “日本の女性は今も昔も働いているが、男女間賃金格差がとても大きい。男性と同学歴や同職種でも…”</p>	<p>中野洋恵さん</p>  <p>日本 BPW 連合会企画委員長、国立女性教育会館客員研究員 “GGGI 教育分野は今回1位一でも手放して喜ばない。その理由を掘り下げる必要があります!”</p>	<p>黒崎伸子さん</p>  <p>BPW 長崎クラブ 会長、国境なき医師団日本元会長、日本女性医療者連合理事 “健康の男女格差を見るなら、より critical な課題、産む性であるための女性の課題や暴力、健康の質が重要!”</p>
---	--	---	--

≪GGGR 2022 より≫

2022年7月13日に世界経済フォーラム(WEF)が発表した報告書(The Global Gender Gap Report/GGGR)によると、日本のジェンダーギャップ指数(The Global Gender Gap Index/GGGI)は146か国中116位と下位レベルのままである。教育・健康の2分野で指数・順位が改善したが、政治・経済分野の男女格差は、非常に深刻であると WEF も特筆している。経済分野は指数も順位ともに下がり、政治分野は前年のワースト10からワースト8となった。また総合指数は、東アジア・太平洋地域で最下位である。

https://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2022.pdf 

GGGR2021では、COVID-19パンデミックにより世界的にも女性のほうが失業などより大きな影響を受けたため、世界全体で男女間格差を解消するには、135年もかかり、その前の99.5年から一世代分を喪失したとしたが、今回も、このままでは、その解消に132年かかる」と指摘し、各国に取組みの加速を求めている。前年より1%以上改善した国は、わずかに30ヶ国に過ぎない。



◇前年との比較

分野	2022年		2021年	
	ギャップ指数	順位	ギャップ指数	順位
政治	0.061	139位	0.061	147位
経済	0.564	121位	0.604	117位
教育	1.000	1位	0.983	92位
健康	0.973	63位	0.973	65位
総合	0.650	116位	0.656	120位
対象国	全146か国		全156か国	

(ギャップ指数は男女格差がなければ、1.000となる)

◇GGGR2022における上位10か国

順位	国名(前年順位)	ギャップ指数
1	アイスランド(1)	0.908↑
2	フィンランド(2)	0.860
3	ノルウェー(3)	0.845
4	ニュージーランド(4)	0.841↑
5	スウェーデン(5)	0.822
6	ルワンダ(7)	0.811↑
7	ニカラグア(12)	0.810↑
8	ナミビア(6)	0.807
9	アイルランド(9)	0.804↑
10	ドイツ(11)	0.801↑
⋮	⋮	⋮
116	日本(120)	0.650